

研究実施のお知らせ

2023/9/21

研究課題名

島根大学医学部附属病院における入院心不全患者の後向き診療実態調査

概要

現在の心不全治療、予後に関するデータは平均 65～70 歳の患者を対象とした研究から得られたものがほとんどであり 75 歳以上のデータは限られています。80 歳以上のデータはさらに少なく、超高齢心不全患者の管理は診療ガイドラインでカバー出来る範囲を超えており、個別の対応が求められているのが現状です¹⁻⁴⁾。

日本の平均寿命は男性 82.6 歳、女性 87.7 歳とかなり長寿の国であり、平均高齢化率（65 歳以上の人口の割合）は 28.7%と世界的に見ても高いことが知られています（2020 年時点）。島根県は人口約 67 万人で高齢化率が 2020 年時点で 34.3%と日本の中でもさらに高い県であり、高齢心不全患者の増加が問題となっています。

研究の対象となる方

2017 年 4 月から 2022 年 3 月までの期間に心不全の治療や精査で入院した方

研究の目的・意義

本研究は、このような高齢化先進県である島根県の中核病院である島根大学医学部附属病院において、急性心不全で入院された患者の背景、治療内容、入院期間、再入院率、臨床転帰について後向き観察研究により明らかにすることを目的としています。これにより、高齢化社会特有の予後因子や問題点を特定し、心不全の再入院予防や予後改善につなげていくことができる可能性があります。

研究の方法

研究対象者の電子カルテから得られる情報（年齢、性別、身長、体重、既往歴、心疾患の家族歴の有無、血圧、脈拍、症状、血液検査、尿検査、12 誘導心電図、心エコー図検査、胸部レントゲン写真、CT 検査、MRI 検査、核医学検査、運動機能検査、治療内容、臨床転帰、心不全増悪の理由や死因についての記録）を収集し、統計解析を行います。

研究期間

本研究は 2024 年 1 月 16 日から 2025 年 3 月までに終了することを予定しています。

研究組織

この研究は島根大学医学部附属病院循環器内科が行います。

参加研究機関

[研究機関]
島根大学医学部附属病院 循環器内科

[研究責任者]
田邊 淳也

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2024 年 3 月 31 日までにお願います。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

本研究では研究対象者の識別が不可能な状態でデータを管理・使用し、個人が特定されないよう留意します。この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：田邊 淳也
島根大学医学部附属病院 循環器内科
〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1
電話：0853-20-2249 FAX：0853-20-2201